

概要

■ 計測データの収集や機能設定など、運用システムの基本設定に!

『蓄積設定ツール』は、機器に蓄積した計測データをCSVデータとしてパソコンに保存するためのソフトウェアです。

EcoRiALやジョイントモジュールの各種設定機能も備えたエネルギー監視の基本ソフトです。



データの蓄積・収集方式や各種オプションを設定!

型式

WRS-PMS

動作環境

- 対応OS** Windows XP Professional
Windows Vista Ultimate SP1
Windows 7 Professional (32bit/64bit)
Windows 8.1 Pro (32bit/64bit)
Windows 10 Pro (32bit/64bit)
Windows Server 2003 SP2 (32bit)
Windows Server 2008 SP1 (32bit)
Windows Server 2008 R2 (64bit)
Windows Server 2016 Standard (64bit)
- CPU** インテル® Core™ 2 Duoプロセッサ (1.8GHz) 以上
- メモリ** 1GB以上推奨
- ハードディスク容量** インストール時、80GB以上の空き
- ディスプレイ** XGA (1024×768) 以上
- COMポート** COM1~COM5
※COM3~COM5はRS232C拡張ボードを使用している時に有効

仕様

- 蓄積条件の設定** 基本設定 または 詳細設定
- 蓄積間隔** 1 / 5 / 10 / 30 / 60 / 120 / 240分または時間指定 (1日1回任意時間)
- 収集データ** 差分/年指定/月指定/日指定/時間指定/全データ
- 収集方法** 自動収集 (1日1回任意時間)/手動収集
- ジョイントモジュール設定**
- 定格設定** 機能ユニット (WJFシリーズ)の定格設定
 - 警報発報設定** メインユニット (WJMシリーズ)の警報発報機能の設定
 - イベント設定** メインユニット (WJMシリーズ)のログを残したいイベント選択、ログ自動収集設定
 - デマンド設定** メインユニット (WJMシリーズ)のデマンド監視機能の設定
※エコリアル(WRS-EMS)のデマンド監視時は必須
 - メール設定** 警報やイベント発生時にメインユニット (WJMシリーズ)から送信するメールアドレスの設定
 - 間欠制御設定** メインユニット (WJMシリーズ)の間欠制御機能の設定
 - 模擬出力** 機能ユニット (WJF-DO)の出力操作
 - おんどりSNVT設定** 機能ユニット (WJF-STO)のSNVTs設定 (ティアンドデイ社製おんどり)

※蓄積設定時の注意事項

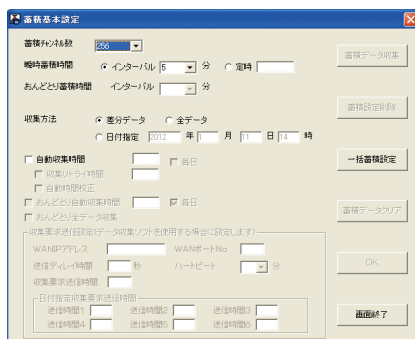
ジョイントモジュール1台に対し、60台以上のモジュールデータを蓄積させないでください。(詳細は248ページ参照)

基本機能

- 蓄積設定、蓄積データの収集
- ジョイントモジュール (WJM、WVM、WJF) の詳細設定
- EcoRiAL のポイント設定

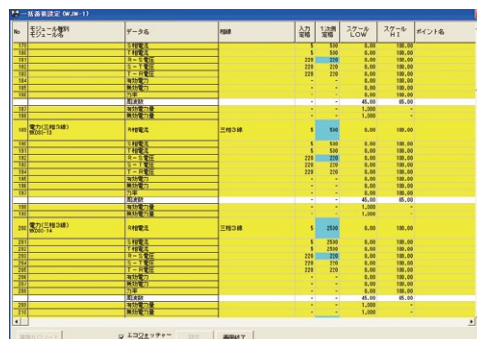
画面

蓄積基本設定



蓄積間隔や収集方法の設定を行います。

蓄積詳細設定



登録したモジュールの全計測要素の中からデータ蓄積 (CSV) させる要素を選択します。

データフォーマット

蓄積データフォーマット

(例) 2012/04/01,12.00,6609

- ① ② ③

- ① 蓄積データ年月日
- ② 蓄積データ時分
- ③ 計測値